

第1章

個別論点と年次決算

第1章では、手形や固定資産などに関する基礎的な知識を確認する問題が用意されています。また、年次決算における会計処理については、まぎらわしい論点を取り上げましたので、知識を確認したうえで次章からの入力練習に進みましょう。

個別論点と年次決算

第1章

会計データの新規作成

第2章

製造業における原価情報

第3章

財務構造の分析

第4章

収益構造の分析

第5章

短期利益計画と予算管理

第6章

資金管理

第7章

基幹業務の管理システム

第8章

ANSWER

解答

1. 手形取引

問題 1-1

手形に関する下記の設問に答え、解答欄に記号で記入しましょう。

設問 1

下記の約束手形の説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. この約束手形の手形金額¥1,000,000を支払う企業は、弥生家具株式会社である。
- イ. この約束手形は、令和○年4月20日以降に現金化することができる。
- ウ. この約束手形を受け取った企業は、一般的には約束手形勘定で処理する。
- エ. この約束手形を作成した企業は、柏の葉株式会社である。

No.	約束手形	No. AA135789	見本
収入印紙	弥生家具株式会社 殿	支払期日	令和 ○年 7月 28日
金額	¥1,000,000	支払地	千葉県 柏市
令和 ○年 4月 20日	上記金額をあなたまたはあなたの関係人へこの約束手形と引換えにお支払いいたします	支払場所	筑波山銀行 利根川支店
振出地	千葉県柏市△△-×××		
住所	柏の葉株式会社		
振出人	代表取締役 若葉 みどり		

設問 2

買掛金の支払として設問1の約束手形を振り出した取引について、正しい仕訳を1つ選びなさい。

- ア. 約束手形 1,000,000 / 買掛金 1,000,000
- イ. 買掛金 1,000,000 / 支払手形 1,000,000
- ウ. 買掛金 1,000,000 / 約束手形 1,000,000
- エ. 買掛金 1,000,000 / 当座預金 1,000,000

設問 3

手形に関する説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 約束手形の名あて人は、為替手形の名あて人と同様に手形金額を受け取る手形債権者である。
- イ. 取立を依頼した手形が不渡りになって戻ってきた場合は、速やかに貸倒れとして処理する。
- ウ. 約束手形の振出人は、為替手形の振出人と同様に手形金額を支払う手形債務者である。
- エ. 設問1の約束手形において、筑波山銀行・利根川支店は、柏の葉株式会社の取引銀行である。

解答欄

設問1	設問2	設問3

Advice

設問3 為替手形の名あて人は、手形金額の支払を引き受けた引受人であり、手形金額の支払人として手形債務が発生します。

問題 1-2

手形に関する下記の設問に答え、解答欄に記号で記入しましょう。

設問 1

手形の諸取引に関する説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 割引に出した手形が不渡りになった場合、割引に出した者に手形金額を支払う義務はない。
- イ. 保有する手形を満期日前に第三者へ譲り渡すことを裏書きといい、第三者を裏書人と呼ぶ。
- ウ. 不渡手形勘定に計上してあった請求額を回収した場合は、不渡手形勘定の貸方に計上する。
- エ. 約束手形を振り出し、担保として差し入れることにより金銭を借り入れた場合、手形に関する仕訳は必要であるが、借入金に関する仕訳は不要である。

設問 2

約束手形(額面¥1,000,000)の所持人が手形を割引き、手取金¥960,000を受け取った取引について、正しい仕訳を1つ選びなさい。(債務保証に関する仕訳は不要)

- ア. 当座預金 960,000 / 受取手形 960,000
- イ. 当座預金 1,000,000 / 受取手形 1,000,000
- ウ. 当座預金 960,000 / 受取手形 1,000,000
手形売却損 40,000
- エ. 当座預金 960,000 / 受取手形 1,000,000
支払利息 40,000

設問 3

手形に関する説明として、不適切なものを1つ選びなさい。

- ア. 他店が振り出した約束手形や為替手形を受け取った場合は、手形債権の増加として受取手形勘定の借方に計上する。
- イ. 為替手形を振り出した企業は、一般的には手形債権も手形債務も発生しない。
- ウ. 取立を依頼している手形が支払期日に決済された場合は、受取手形勘定の貸方に計上する。
- エ. 為替手形の名あて人は引受人でもあり、手形債権が発生するので受取手形勘定の借方に計上する。

解答欄

設問1	設問2	設問3

Advice

設問 2 近年の会計諸則では「受取手形は、その割引または裏書譲渡時に消滅を認識する」と改正され、手形割引や裏書譲渡は手形の売却であるという考え方が一般的です。以前は、手形を担保とした借り入れの利息にあたりと考えられていた割引料は、「手形売却損(手形譲渡損)」として処理します。

2. 固定資産とその他の取引

問題 1-3

固定資産とその他の取引に関する下記の設問に答え、解答欄に記号で記入しましょう。

設問 1

営業用の車輛購入に関する会計処理について、不適切なものを1つ選びなさい。

- ア. 自動車取得税を租税公課勘定で処理した。
- イ. エアバッグ類・フロン類料金などのリサイクル費用を預託金勘定で処理した。
- ウ. 購入時にオプションで取り付けたカーナビゲーションの代金を消耗品費勘定で処理した。
- エ. 購入時に支払った自賠責保険の保険料を保険料勘定で処理した。

設問 2

固定資産に関する会計処理について、不適切なものを1つ選びなさい。

- ア. 当期の減価償却費として算定された金額を減価償却費勘定の借方と減価償却累計額勘定の貸方に計上する方法は、間接法と呼ばれている。
- イ. 固定資産の取得価額には、引取運賃や運送保険料などの付随費用を加算する。
- ウ. 費用として計上する特例を適用して購入した取得価額30万円未満の減価償却資産は、固定資産税の対象とはならない。
- エ. 期の途中で購入して事業のために使用している減価償却資産は、「月割り計算」により当期の償却額を計算する。なお、1日でも使用した場合は1ヶ月として計算する。

設問 3

固定資産やその他の取引に関する説明として、不適切なものを1つ選びなさい。

- ア. オペレーティング・リース取引には所有権が移転する取引形態もあり、この場合は通常の売買取引に準じて会計処理しなければならない。
- イ. 委託された商品の販売に応じて手数料を受け取る委託販売契約では、期末に未販売の委託品は、受託者の期末棚卸資産とはならない。
- ウ. 決算日の翌日から起算して1年を超えて返済期限の到来する借入金は、貸借対照表の固定負債の部に「長期借入金」として記載する。
- エ. 当座借越契約を結んでいる当座預金口座で、預金残高を超えて支払がなされた金額は、銀行からの短期借入金として処理する。

解答欄

設問 1	設問 2	設問 3

Advice

設問 1 自動車を購入した際に支払うリサイクル費用については、「コンピュータ会計 応用テキスト」16ページを参照してください。

問題 1-4

固定資産とその他の取引に関する下記の設問に答え、解答欄に記号で記入しましょう。

設問 1

固定資産の修繕に関する会計処理について、正しいものを1つ選びなさい。

【事例】社内の情報システムにて3年目に予定されていた修繕（メンテナンス）が実施され、総額¥150,000を支払った。なお、今回の修繕により処理能力が従来水準に回復した。

- ア. 改良のための修繕ではないので、当期の費用として修繕費勘定に計上する。
- イ. 処理能力が回復したことから耐用年数が延長したと考えられるので、資本的支出により設備の追加購入として処理する。
- ウ. 3年目に予定されていることから、3分の1にあたる¥50,000を当期の修繕費とし、残額は長期前払費用として次期以降へ繰り延べる。
- エ. 計画的に予定されている修繕なので、今回の支出分を当期の修繕引当金繰入額として計上する。

設問 2

固定資産の購入に関する会計処理について、正しいものを1つ選びなさい。

【事例】機械装置本体価額¥880,000 据付費¥140,000 試運転費¥95,000

- ア. 機械装置の購入に関するすべての支出額を合計して、機械装置の取得価額として処理する。
- イ. 機械装置の取得価額は本体価額のみで、据付費と試運転費は支払手数料として処理する。
- ウ. 機械装置の取得価額は本体価額と据付費で、試運転費は修繕費として処理する。
- エ. 機械装置の取得価額は本体価額のみで、据付費は荷造運賃、試運転費は支払手数料として処理する。

設問 3

法人の減価償却に関する説明で、不適切なものを1つ選びなさい。

- ア. 平成19年度の税制改正によって、耐用年数が経過した後の処分見込額である「残存価額」という考え方は廃止された。
- イ. 「一括償却資産」として取りまとめた償却資産は、取得価額の合計額を3年間で均等に償却する。
- ウ. 平成19年度税制改正前に取得した償却資産は、この改正の適用外となるため、償却可能限度額を超えて償却することはできない。
- エ. 固定資産のうち「土地」は非減価償却資産と呼ばれ、減価償却の対象ではない。

解答欄

設問1	設問2	設問3

3. 決算の手続き

問題 1-5

決算の手続きに関する下記の設問に答え、解答欄に記号で記入しましょう。

設問 1

下記のように設定されている会計ソフトにおいて、売上原価を算定させる年次決算仕訳について、正しいものを1つ選びなさい。

- 【設定】・損益計算書の勘定科目:「期首商品棚卸高」「仕入高」「期末商品棚卸高」
・貸借対照表の勘定科目:「商品」
・商品勘定の前期繰越高…¥2,600,000
・当期末商品帳簿棚卸高…¥2,450,000

なお、月次単位で売上原価を算定させるための月次決算仕訳は行っていない。

- ア. 期首商品棚卸高 2,600,000 / 商 品 2,600,000
商 品 2,450,000 / 期末商品棚卸高 2,450,000
イ. 期末商品棚卸高 2,600,000 / 商 品 2,600,000
商 品 2,450,000 / 期末商品棚卸高 2,450,000
ウ. 仕 入 高 2,600,000 / 商 品 2,600,000
商 品 2,450,000 / 仕 入 高 2,450,000
エ. 仕訳なし

設問 2

年次決算に関する会計処理について、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 年次決算における消費税の精算仕訳は、消費税課税対象外取引として処理する。
イ. 年次決算手続中に現金の帳簿残高と実際残高の不一致が判明した場合は、「現金過不足」勘定で処理して次期へ繰り越す。
ウ. 期中に発生した売上債権について、貸倒れが発生していない場合は「貸倒繰入額」勘定と「貸倒引当金」勘定に計上する会計処理は不要である。
エ. 年次決算月に発行した請求書で、年次決算時において未だ入金されていないものは、次期の売上として計上する。

設問 3

年次決算手続きにおける実地棚卸の結果、帳簿棚卸高に対する不足額が判明したので、この棚卸減耗の金額を売上原価に含めて処理することとした。年次決算に関する会計処理について、正しいものを1つ選びなさい。

なお、会計ソフトにおける設定は、設問1と同じである。

- ア. 棚卸減耗の金額を雑損失勘定の借方と商品勘定の貸方に計上する。
イ. 売上原価を算定するための決算仕訳で、実地棚卸金額を商品勘定の借方と期末商品棚卸高勘定の貸方に計上する。
ウ. 棚卸減耗の金額を商品評価損勘定の借方と商品勘定の貸方に計上する。
エ. 棚卸減耗の金額を棚卸減耗費勘定の借方と期末商品棚卸高勘定の貸方に計上する。

解答欄

設問 1	設問 2	設問 3

問題 1-6

次の(1)から(4)の取引について、仕訳として正しいものを1つ選び、解答欄に記号で記入しましょう。(なお、決算日は3月31日、年1回とする)

- (1) 令和○年1月に固定資産に関する保険料1年分¥12,000を支払い、保険料勘定で処理した。年次決算の見越・繰延に関する仕訳として正しいものを1つ答えなさい。

ア. 保 険 料 9,000 / 前払保険料 9,000
 イ. 前払保険料 3,000 / 保 険 料 3,000
 ウ. 保 険 料 3,000 / 前払保険料 3,000
 エ. 前払保険料 9,000 / 保 険 料 9,000

- (2) 令和○年3月に当社所有設備の賃借料¥120,000を4月分として受け取った。年次決算の見越繰延に関する仕訳として正しいものを1つ答えなさい。

ア. 受取賃借料 120,000 / 前受賃借料 120,000
 イ. 前払賃借料 120,000 / 受取賃借料 120,000
 ウ. 前受賃借料 120,000 / 受取賃借料 120,000
 エ. 受取賃借料 120,000 / 未収賃借料 120,000

- (3) 令和○年3月1日に親会社より¥5,000,000を期間62日(借入・返済日を含む)の約束で借り入れ、利息¥30,000は元金とともに返済時に支払うこととした。年次決算の見越繰延に関する仕訳として正しいものを1つ答えなさい。

ア. 支払利息 15,000 / 未払利息 15,000
 イ. 未払利息 15,000 / 支払利息 15,000
 ウ. 支払利息 30,000 / 未払利息 30,000
 エ. 未払利息 30,000 / 支払利息 30,000

- (4) 委託された商品販売に関する手数料の令和○年3月分¥52,500が未だ支払われていない。年次決算の見越繰延に関する仕訳として正しいものを1つ答えなさい。

ア. 未収手数料 52,500 / 受取手数料 52,500
 イ. 受取手数料 52,500 / 未収手数料 52,500
 ウ. 受取手数料 52,500 / 未払手数料 52,500
 エ. 仕訳なし

解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)

Advice

- (1) 令和○年4月から12月までの保険料は、次期の収益に対応する費用ですので繰り延べます。
 (2) 4月分の賃借料¥120,000は、次期の収益として繰り延べます。

